

## 第2回開催結果

### 1 日時

令和2年2月3日（月） 10時00分～12時00分

### 2 場所

群馬県庁29階 291会議室

### 3 出席者

策定懇談会構成員14名

### 4 議題

- (1) 第2期群馬県版総合戦略（素案）について
  - ア 第2期地方人口ビジョン（人口の将来展望）
  - イ 総合戦略【基本目標2】群馬に住み続けたいくなる
  - ウ 総合戦略【基本目標3】群馬で家族を増やしたいくなる
- (2) その他

### 5 委員の主な意見

#### ▼<第2期群馬県版総合戦略（素案）について>

- ・東国文化を勉強するだけでなく、群馬の良さである恵まれた自然を若いときから体験してもらった方がよい。
- ・県内で働き、生活することがイメージしやすい広報をすることで本県の良さが伝わるという観点で、KPIを設定してみてはどうか。
- ・県内大学等との連携促進については、大学で学んだことを地域で生かせる、地域が求めることを大学の科目で増やしてもらおうなど、大学と意見交換しながら醸成していけばよいのではないか。
- ・本県の魅力をきちんと理解してもらえるような基本教育が必要ではないか。
- ・県内の高校から県内の大学に進学した学生は、本県の魅力を感じているのだと思う。高校生に本県の魅力を伝えられるようにしてもらいたい。
- ・戦略の背景・目的の記載の仕方について、順番を入れ替えるなど、どこをアピールするかという点でもう一度見直してもよいのではないか。
- ・「群馬県は災害が少ない」という表現は入れない方がよい。

## 第2回開催結果

- ・中小企業・小規模事業者への経営支援については、既存の企業をどう強化していくかが重要である。
- ・「県産材を使用した住宅及び公共建築物等の建設支援」は、緑の県民税基金事業や森林環境譲与税の有効活用等により、建設支援を充実させた方がよいのではないか。
- ・国の行政機関や国関係の公益法人、研究所を誘致することを記載してはどうか。
- ・それぞれの市町村で活躍している外国人には、もっと活躍してもらえるような場所を提供するなど、外国人児童が将来に夢を持てるような対策をしてもらいたい。
- ・外国人の高度人材育成をできる場の提供があると、定住・定着にもつながってくる。
- ・外国人が住みやすい環境をつくれれば、人口増にもつながってくる。
- ・外国人に胸を張って働いてもらって、我々も雇っていけるような仕組みができるとよい。
- ・「まちのまとまりとネットワークの形成」の事業例において、小さな拠点（道の駅等）の形成支援とあるが、道の駅の整備をすればよいと見えてしまう。
- ・各地域の再開発事業がきちんとできるよう支援していくことが望ましい。一方で、郊外造成を少し強化していくことにも取り組む必要がある。
- ・「SDGsの推進」で生活困窮者という表現があるが、見直した方がよい。
- ・「各年代のニーズに応じた食育の推進」を「健康教育の推進」とし、事業内容を充実してもらいたい。
- ・「スポーツを通じた健康づくり」は「運動・スポーツを通じた健康づくり」とすると身近になるのではないか。
- ・SDGsの推進や過疎・山村地域振興について、森林・林業関係をもう少し入れていただきたい。
- ・広域公共交通ネットワークの強化はどのような事業で実現していこうとしているのか。
- ・戦略6は「安全・安心な暮らしを守る社会基盤づくり」ではなく、「安全・安心な暮らしを実現する社会基盤づくり」の方がわかりやすい。
- ・道路整備だけではなく、治水についても記載した方がよい。
- ・「Society5.0」は用語解説がある方がよい。
- ・家族を増やすためには経済力が非常に重要である。
- ・若者が結婚をして子どもを持つことが非常に重要であるということをもっと踏み込んで表現できないか。
- ・いわゆる「二人目の壁」に対する支援や特定のニーズに対するケアがあると、

## 第2回開催結果

切れ目のない支援になるのではないか。

- ・子育てに関する費用の負担軽減は非常に重要であり、奨学金問題のような経済的な困難を抱える若者に対する相談体制も必要である。

- ・二人目の壁、高卒の就職支援、奨学金等については、人口減少の抑制という意味では大事な話だと思うので、どこかに書けないか。

- ・家族と仕事を両立させるためには、企業が生産性を向上させ、長時間労働を削減するなど、企業側が雇用環境を整備する必要がある。